１０．Macintosh Unix 接続用ソフトウェアのインストール法

目次

1 はじめに **2**
- 1.1 イーサネットボードの入手およびインストール . . . 2
- 1.2 IP アドレスの取得とイーサネットへの物理的接続 . . . 2
- 1.3 うまく行かない場合の対応 . . . 2

2 配布ディスク内容 **3**

3 MacTCP のインストール法 **8**
- 3.1 入手法 . . . 8
- 3.2 イーサネットインターフェースの有効化 . . . 8
- 3.3 MacTCP のインストール . . . 9
- 3.4 インストールの確認 . . . 13

4 圧縮ファイルの展開法 **14**
- 4.1 圧縮ファイル . . . 14
- 4.2 StuffIt Expander のインストール . . . 14
- 4.3 StuffIt Expander の利用法 . . . 15

5 NCSA Telnet のインストール法 **17**
- 5.1 NCSA Telnet 圧縮ファイルの展開 . . . 17
- 5.2 インストール . . . 18

6 Eudora のインストール **19**
- 6.1 Eudora 圧縮ファイルの展開 . . . 19
- 6.2 Eudora のインストールおよびデフォルト設定 . . . 21

7 Fetch の インストール法 **25**
- 7.1 Fetch 圧縮ファイルの展開 . . . 25
- 7.2 Fetch のインストールおよびデフォルト設定 . . . 27

内容の変更点

1. StuffIt Expander の Version を 1.0.1 から 3.0.1 に更新しました. 一部画面例とあわなくなっています.

2. Telnet.sit に NCSA Telnet の説明ファイルをいくつか追加しました.

3. MacTCP のインストール法に関する記述を変更しました. 本文中の図に現れる “XGatorDemo” というアプリケーションおよびフォルダーは無視して下さい.

4. hgc.ims.u-tokyo.ac.jp のアドレス、ネームサーバーマシンアドレスなどで，本文中には 133.11.196.1 画面例などでは 133.11.192.1 のように食い違っているものがありますが，本文にあるように 133.11.196.1 のほうを使用して下さい．

1　はじめに

この資料は, 医科学研究所内の Macintosh から, イーサネット (IP ネットワーク) を通じて, ヒトゲノム解析センターのサーバー UNIX マシンに接続するためのソフトウェアの入手法, およびインストール法についてまとめたものです. 医科学研究所外の Macintosh からネットワーク経由で接続する際にも有用です.

接続を行なうためには, まず,

1. Macintosh へイーサネットボードとドライバーソフトウェアをインストールする.
2. Macintosh を イーサネットに物理的に接続する.
3. IP アドレス割り当て担当者に連絡して, Macintosh の IP アドレスを取得する.

ことを行なってください. 1 および 2 項の操作は, イーサネットボードの購入先に依頼して行ってもらうか, またはイーサネットボードのマニュアルを参照して利用者自身が責任を持って行って下さい. 2 および 3 項を行なう際には, 利用者が所属する組織のネットワーク管理, および IP アドレスの割当方式について, 担当部署に確認のうえ, 行なって下さい.

次に本資料の 2, 3, 節に従ってインストール作業を行なって下さい. 3節に記述された, 接続試験操作がうまくいくことを確かめた後に, 4, 5, 6, および 7節の作業を行なって下さい.

1.1　イーサネットボードの入手およびインストール

イーサネットボード (およびドライバーソフトウェア) は, 通常の Macintosh 販売店で注文することができます. 購入にあたっては, Macintosh の機種名と, 接続するネットワークの規格を明確に述べて下さい. 医科研内の場合は 10BaseT という規格を用います. その他, 10Base5, 10Base2 という規格があります. わからない場合は, 組織のネットワーク運用担当者に確認して下さい. また, 接続ケーブルが必要であるかどうかを確かめ, 必要な場合は
接続ケーブルもボードと同時に注文して下さい. イーサネットボードのインストールは, ボードに附属する説明に従って行なって下さい.

> 医科研内の, 各研究部, 施設に割り当てられた 10BaseT 端子に複数の端末を接続するためには, 10BaseT HUB が必要になります. 例えば アライドテレシス社製 MR802T (8 ポート HUB) 定価 59,800 円 (1994 年 1 月現在) + 接続ケーブル + 210T ツイステッドペアトランシーバが必要となります.

1.2　IP アドレスの取得とイーサネットへの物理的接続

医科研内の IP アドレスの取得については IP アドレス割り当て担当者 (内 5614 加藤 または 荻原:1995 年 1 月現在) に連絡をお願いします.　接続しようとする Macintosh 1 台毎に, 異なる IP アドレスの割当が必要となります. イーサネットへの物理的接続について不明点は, 施設課に問い合わせて下さい.

1.3　うまく行かない場合の対応

この資料に掲載されたソフトウェアのインストールについて疑問がある場合は 03-5449-5620 まで連絡を願います.

> ただし, イーサネットボードのインストール等に関する質問は購入先にお願いします.

2　配布ディスク内容

HGC では, イーサネット (IP ネットワーク) を介して Macintosh を HGC のサーバーマシン (hgc.ims.u-tokyo.ac.jp) と接続するためのソフトウェアを配布しています. また, 医科研内の利用者については, HGC でライセンスを取得した, MacTCP を配布いたします. 医科研外の利用者の方は, 3節を参考にして, MacTCP を別途入手して頂くようお願いいたします.

配布形態は, 次のようになっています.

	ディスク名	内容	医科研外配布
A.	Network Software Installer	ネットワークドライバーの新版	配布不可
B.	TCP/IP Connection	MacTCP 本体	配布不可
C.	配布ディスク 1-2	端末ソフトウェア等	配布可
D.	配布ディスク 3-4	マニュアル等	配布可
E.	配布ディスク 5	NetEntrez, TurboGopher, GDB/accessor	配布可

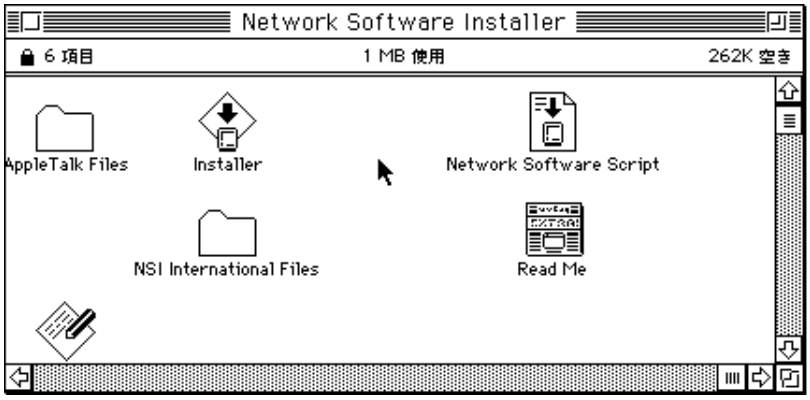
すべて 2HD3.5 inch disk となります. 富岡 (03-5449-5615,5611) まで連絡していただければ, マスターディスクを貸し出します. C, D および E のディスクの内容は, 変更を加えない限り自由にコピーして構いません. 医科研内の利用者は, A および B のディスクのコピーを手元に置くことができます. ただし, 新たに Macintosh をネットワークに接続する際には IP アドレス割り当て担当者に連絡をお願いいたします.

Macintosh へのソフトウェアのインストールを行なった方は, 責任を持って配布ディスクのコピーを保管するようにお願いします. 特に配布ディスク 3-4(ディスク D: マニュアル類) の保管をお願いします.

以下に配布ディスクの内容を簡単に説明します. ディスク C およびディスク D は, 従来それぞれ 2 枚の 2DD ディスクにわかれていたものをまとめたものです. 説明は元の 2DD のディスク単位で (配布ディスク 1 , 2 , 3 , 4 毎に) 行ないます.

> なお, 以下にでてくる圧縮ファイル, 自己展開圧縮ファイルという用語については, 「4 圧縮ファイルの展開法」を参照して下さい.

A: Network Software Installer　Macintosh の ネットワーク拡張機能をインストールするためのディスクです.



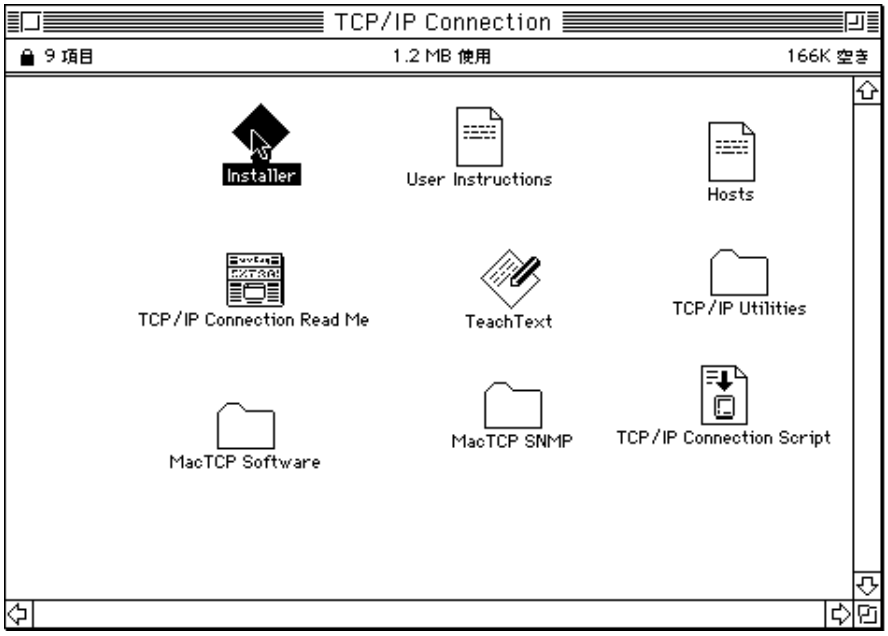
MacTCP 2.X に対応したイーサネットボードを新たに購入した場合には, ボードに同内容のディスクが附属しているはずですので, ボードに附属のディスクをお使い下さい.

このディスクは, イーサネットボードをインストール済みである既存の Macintosh に MacTCP2.X をインストールする場合に用います. 利用法は, ボードの購入元に問い合わせて下さい.

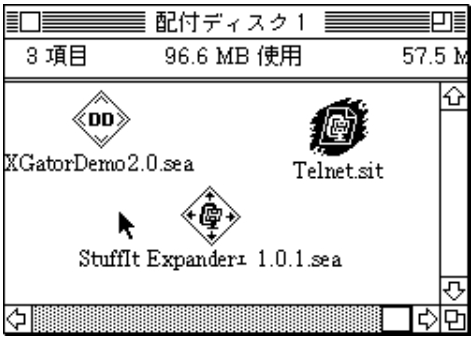
このディスクのコピーをとる際は, 必ずフロッピーディスク上にコピーし, ディスク名称を “Network Software Installer” とつけて下さい. 名称を間違えたり, ハードディスク上に置いたままですと, 正しく使えない場合があります.

B: TCP/IP Connection MacTCP 2.X のインストール用ディスクです.

このディスクのコピーをとる際は, 必ずフロッピーディスク上にコピーし, ディスク名称を “TCP/IP Connection” とつけて下さい. 名称を間違えたり, ハードディスク上に置いたままですと, 正しく使えない場合があります.



C-1: 配布ディスク 1: 圧縮ファイルを展開するためのソフトウェア StuffIt Expander, および端末ソフトウェア NCSA Telnet が入っています.

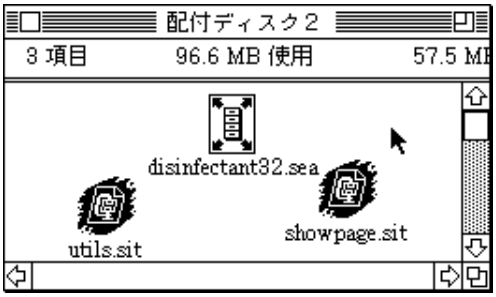


それぞれのファイルの内容は以下のとおりです.

- StuffIt Expander 3.0.X.sea
  配布ディスクに含まれる, 圧縮ファイルを展開するためのソフトウェアです. 自己展開圧縮ファイルになっています.

- Telnet.sit
  端末ソフトウェア NCSA Telnet 日本語版の圧縮ファイルです.

C-2: 配布ディスク 2： Macintosh で電子メールを読み書きするためのソフト Eudora, UNIX と Macintosh 相互でファイル転送を行なうためのソフト Fetch, コンピュータウィルス感染防止ソフト disinfectant, PostScript ファイルをプリンタに出力するためのソフト showpages が入っています.



それぞれのファイルの内容は以下のとおりです.

- utils.sit
  電子メールソフト Eudora および ファイル転送ソフト Fetch が入っています. 圧縮ファイルです.

- disinfectantXX.sea
  コンピュータウィルス感染防止ソフト disinfectant です. 自己展開圧縮ファイルになっています. disinfectant についての説明は省略します. Online Help を参照して下さい.

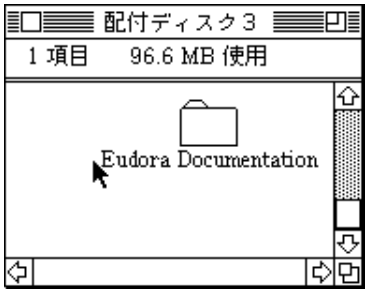
Macintosh を利用して hgc に接続する場合は, ウィルスの感染防止措置をとってください.

- showpage.sit
  PostScript ファイルをプリンタに出力するためのソフト showpages の圧縮ファイルです.

  showpages は, UNIX 上の立体構造解析ソフトウェア等が出力する PostScript ファイルを, Fetch で Macintosh に転送し, Macintosh に接続されている PostScript プリンタで出力するのに用います. showpages についてのこれ以上の説明は省略しますので, 附属のマニュアルを参照して下さい.

  showpages のインストールは 4節に従って, showpage.sit を展開すれば終了です.

D-1: 配布ディスク 3： Eudora のマニュアルです. Eudora の機能をフルに使う場合に必要です. フォルダーに複数のファイルが入っています. ファイルの一部は圧縮ファイルになっています.



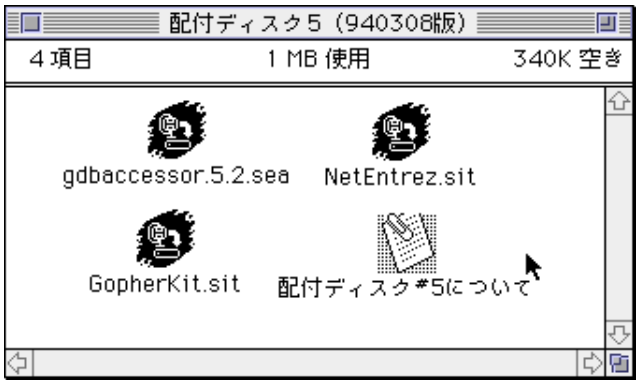
D-2: 配布ディスク４： NCSA Telnet のマニュアルです．NCSA Telnet の機能をフルに使う場合に必要です．圧縮ファイルになっています．このマニュアルは Microsoft Word で作成されていますので, 読むためには Microsoft Word が必要です.

E: 配布ディスク５： NetEntrez, TurboGopher, GDB/Accessor が入っています。いずれも自己展開プログラムになっていますので、それぞれ NetEntrez.sit, GopherKit.sit, gdbaccessor.5.2.sea をダブルクリックするだけです。また、いずれのプログラムも MacTCP ネットワークドライバーの下で動作しますので、あらかじめ本章に記載されている MacTCP のインストールがなされている必要があります。

- NetEntrez.sit
  展開すると entrez フォルダと NetEntrez 利用法の文書 (EGword) ができます。 entrez フォルダには NetEntrez プログラム本体、初期設定プログラム、いくつかのデータ用フォルダがあります。この設定と使用方法は 5 章に書かれていますのでそちらを参照して下さい。

- GopherKit.sit
  TurboGopher プログラムおよび英語版 NCSA Telnet が入っています。特に Gopher から telnet が呼び出される場合、日本語版 NCSA Telnet は使えないことがありますので、一緒にハードディスクにインストールして下さい。使い方は 8 章に書かれています。

- gdbaccessor.5.2.sea
  展開すると GDB/Accessor フォルダが作られ、中には GDB/Accessor プログラム本体、Instruction マニュアル (MS Word) 、リリースノートがあります。この使用法については本手引には含まれていませんが、ヘルプ機能がかなり充実していますので、 GDB の内容について知っていれば極めて簡単に使えます。また中に含まれている Instruction マニュアルが大変丁寧に書かれ、最終章には Tutorial もついていますので、使いながらなれることができます。まずはダブルクリックで開いてみて下さい。なお、ソフトウェアがアップグレードされるとその旨メッセージが出てその場で新しいバージョンをとってくることができます。メッセージにしたがって Special メニューの Update... を実行して下さい。また、実行中にネットワーク接続が切れてしまうことがありますが、その場合は Special メニューの Reconnect... を実行して下さい。


配付ディスク５（940308版）
４項目
1 MB 使用
340K 空き
gdbaccessor.5.2.sea
NetEntrez.sit
GopherKit.sit
配付ディスク#5について

3 MacTCP のインストール法

ここでは, Macintosh と UNIX マシンを, イーサネット (IP ネットワーク) を介して接続するための基本ソフトウェア, MacTCP の インストール方法を説明します.

この説明書で説明している他のネットワークソフト (NCSA Telnet, Eudora, Fetch 等) を利用するためには, 利用する Macintosh 上に,

1. イーサネット ボードとドライバーをインストールする.
2. イーサネット に Mac を接続する.
3. IP アドレス割り当て担当者に連絡して, アドレスの割り当てを受ける.
4. MacTCP をインストールする.

作業をこの順で行なう必要があります. なお, イーサネット ボードのインストール法およびイーサネット への Mac の接続法については, イーサーネットボードのマニュアルを参照して下さい.

3.1 入手法

MacTCP は, 一般の Apple 代理店から定価 1 万円で購入可能です. また, ソフトウェア本体とは別売で, 1 本のソフトウェアで 20 台までのライセンス契約 (定価 7.5 万円) が可能です.

- ヒトゲノム解析センターでは東京大学医科学研究所内の利用者に対し, MacTCP のライセンスを取得しています. 医科研内部の利用者数の把握のため, 医科研内で新規に Macintosh をネットワークに接続される場合は, 03-5449-5615,5611 (担当：富岡) まで御連絡お願いします. MacTCP の ライセンス取得済コピーを配布いたします.

MacTCP はフリーソフトではありません. 無断で医科研外に MacTCP をコピー配布しないようにして下さい.

- 少しバージョンが古くなりますが, 下記の本の付録にも MacTCP が 付属しているそうです (実物は未入手ですので 各自御確認の上購入をお願いします). 為替レートによっては こちらのほうが格安になる場合があります.

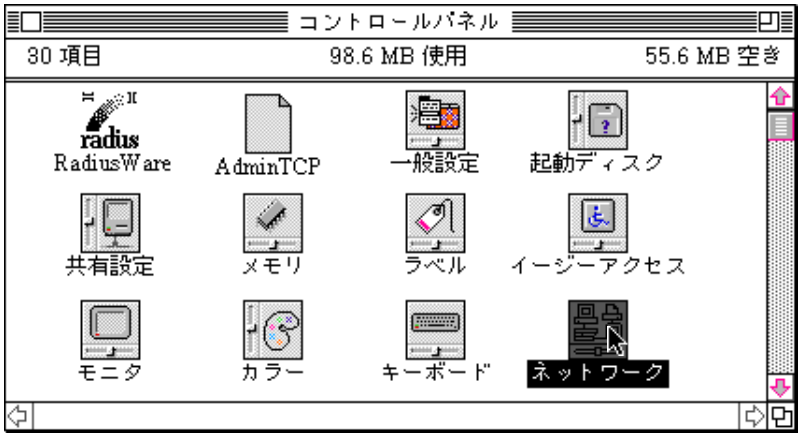
  The Internet Starter Kit for Macintosh, by Adam C. Engst.
  Published by Hayden Books. ISBN 1-56830-064-6.

3.2 イーサネットインターフェースの有効化

まず, Macintosh がイーサネットを使ったネットワーク接続をするように設定します. この作業を行なう前に, イーサネットボードおよびドライバーをインストールしておいて下さい. インストールはボードに附属するインストール用ディスクを用いて行なって下さい.

ただし, イーサネットボードの購入時期が古い場合, 購入先に,「MacTCP 2.0 を用いる場合のインストール法」について問い合わせて下さい. その際, 手元に,「TCP/IP Connection」と「Network Software Installer」があることを購入先に伝えて下さい.

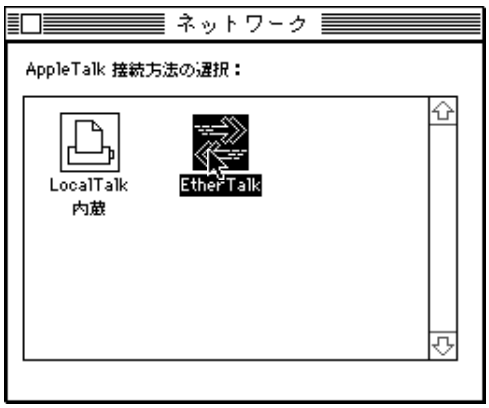
Step. 1　コントロールパネル ⇒ ネットワーク を選択して下さい.



コントロールパネル ⇒ ネットワークが 選択できない場合はイーサネットボードおよびドライバーのインストールが正しくできていません. 正しくインストールして下さい.

上の画面は, 漢字 Talk7 システムのものです. 古いバージョン (System 6) ではコントロールパネルの表示が異なります.

Step. 2　EtherTalk を選択してください.



3.3　MacTCP のインストール

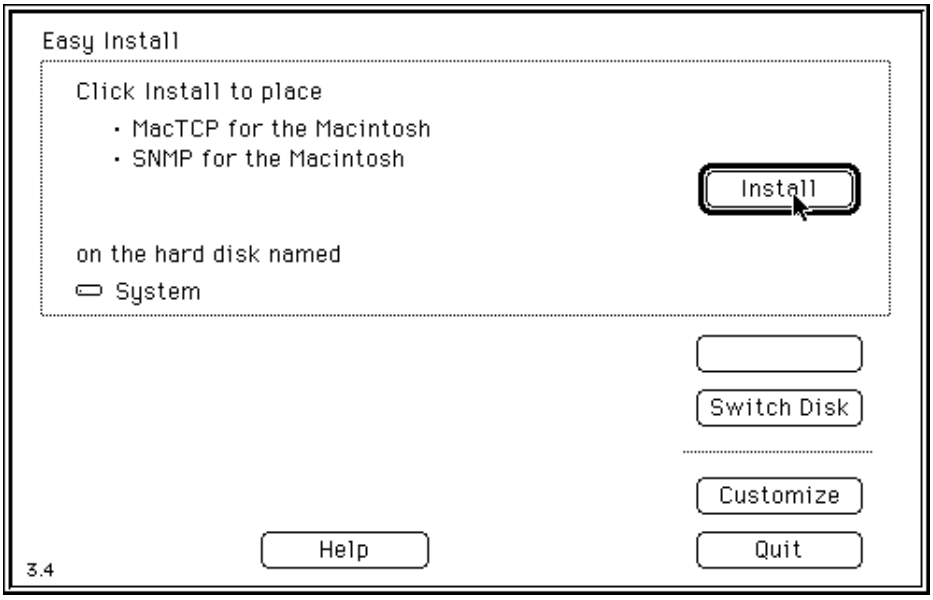
MacTCP をインストールします. なお, この設定は, 1994 年 1 月現在の医科研内ネットワークの状態を想定しています. 医科研内ネットワークの状態が変更になった場合, 下の設定も変更される場合があります. 医科研内で MacTCP をインストールする際には, 前もって IP アドレス割り当て担当者に連絡し, どのような設定にしたら良いか確認して下さい.

医科研外でこの資料を参考に作業をされる場合は, 組織内のネットワーク管理担当者に次のことを確認して下さい.

- ネットワークの IP アドレス (111.111.111.0 のような数字の 4 つ組)
- ネットワークのクラス (A, B または,C)
- 自分の Macintosh に割り当てられた IP アドレス.

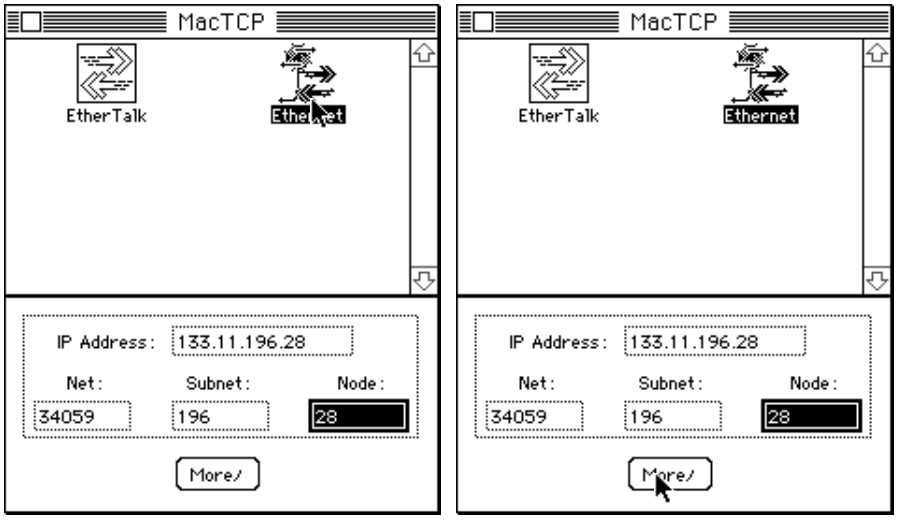
- サブネットマスクビット数 (0 ~ 23)
- ゲイトウェイ IP アドレス
- ネームサーバー IP アドレス (なくても良い. これがない場合は, 接続するために接続相手の IP アドレス を 指定する必要がある).

Step. 1 ディスク「TCP Connection」を Macintosh に挿入し, Installer を起動して下さい. 続いて Install を選択してください.

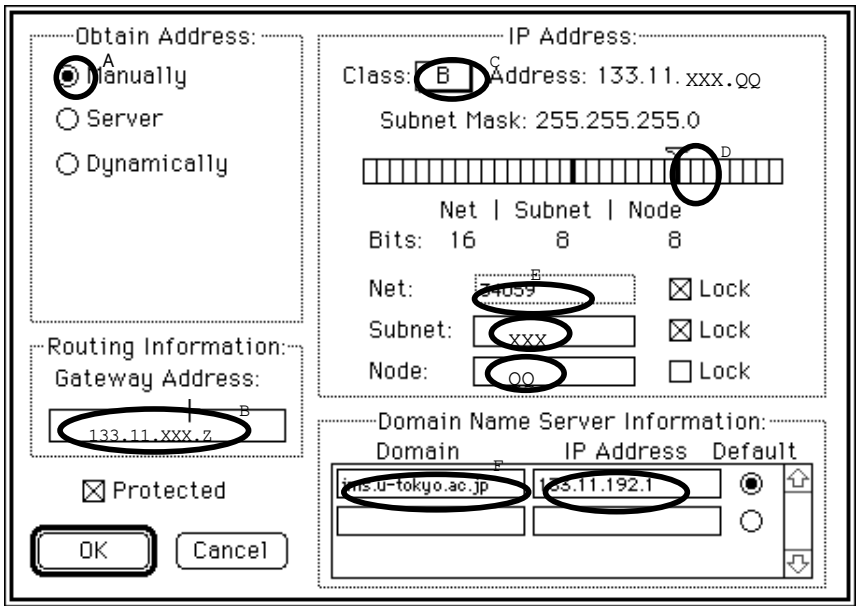


Step. 2 コントロールパネル ⇒ MacTCP を選択して下さい.

Step. 3　下図のような画面がでてきますので, Ethernet を選択し, 次に More ボタンを選択して下さい.



Step. 4　設定を行ないます. それぞれの設定は以下の説明に従って行なって下さい.



A Obtain Address は Manually を選択して下さい.

B Gateway Address は, 次のように設定して下さい.

サイクロトロン棟	133.11.145.1
病院	133.11.146.1
1 号館 (研究棟)	133.11.147.1
2 号館	133.11.148.1
3 号館	133.11.149.1
ゲノムセンター 1F	133.11.197.1
ゲノムセンター 2F	133.11.196.31

Gateway address は, 他のネットワークと通信を行なう場合の中継場所を設定します. Gateway address を正しく設定しないと, 他のネットワーク (たとえば HGC) と通信できなくなります.

C IP Address Class は Class B を選択して下さい.

東大は, 複数の Class B のアドレス (65533 台まで接続可能) を使っています.

D Net — Subnet —Node は, Bits: 16,8,8 となるように, カーソルを動かして設定して下さい. この状態で, Subnet Mask は 255.255.255.0 に なっているはずです.

医科研では, 当面 サブネット 8bit で運用します.

E IP アドレスの設定

Net: は, 34059 と設定して下さい. この数字は, 東大医科研の所属する Class B ネットワークアドレスである 133.11 を 表します ($34059 = 133 \times 256 + 11$). 医科研外で設定を行う場合は上の式を参考に設定値を決めて下さい.

Subnet: は 次のように設定して下さい.

サイクロトロン棟	145
病院	146
1 号館 (研究棟)	147
2 号館	148
3 号館	149
ゲノムセンター 1 F	197
ゲノムセンター 2 F	196

Node: は, 各イーサネットノード毎に 2 から 2 5 4 までの異なる数字を設定します (クラス B, サブネット長が 8 ビットの場合). あらかじめ IP アドレス管理担当者から割り当てられた番号を設定して下さい.

ここまでの設定が正しく行なわれれば, ダイアログボックス右上の Class B Address: の次に,「割り当てを受けた IP アドレス」が表示されるはずです.

F Domain Name Server Information には,

Domain	IP Address
ims.u-tokyo.ac.jp	133.11.196.1

を設定してください. 医科研外の利用者の場合は, ネットワーク管理担当者に問い合わせて設定して下さい.

最後に OK ボタンを選択して下さい.

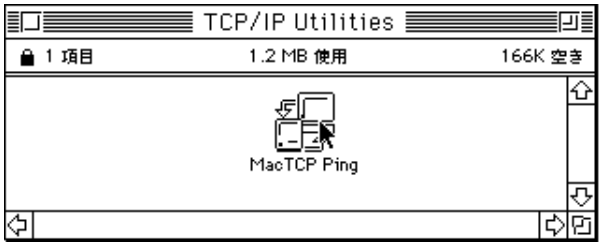
Step. 5 Macintosh をリスタートして下さい.
これで MacTCP のインストールは終了です.

なお, IP アドレスは, ネットワークの発展に伴い, 変更される可能性があります. 設定前に, IP アドレス割り当て担当者に連絡して正しい IP アドレスを確認するようにして下さい.

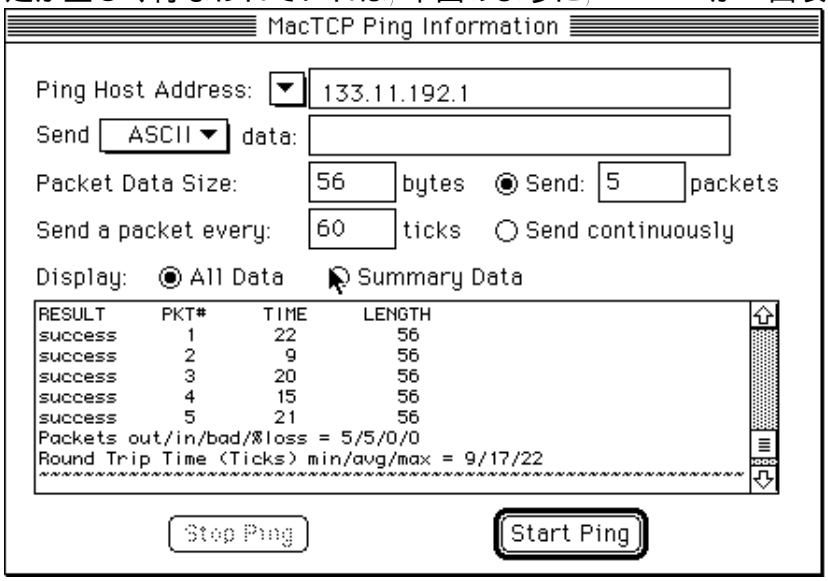
3.4　インストールの確認

MacTCP のインストールが正しく行なわれたことを確認するために, 次のことを行なって下さい.

1. TCP Connection ディスクの, MacTCP Utility Folder から, MacTCP Ping を, ハードディスクにコピーして下さい.



2. 前項で設定したゲートウェイ IP アドレスをアドレスに指定し, Start を選択して下さい. 設定が正しく行なわれていれば, 下図のように, success が 5 回表示されるはずです.



3. 次に, IP アドレス 133.11.196.1 (HGC のサーバーマシンの IP アドレス) を指定して, Start を選択して下さい. 同様に success が 5 回表示され るはずです.

> 注: 以上の操作がうまくいかない場合は, 設定が正しいことを確認して ください. HGC のサーバーマシンの IP アドレスは変更になる場合があります. 御不審の点がある場合は, 03-5449-5620 にお問い合わせ下 さい.

4　圧縮ファイルの展開法

ここでは, HGC からの 配布ディスクに入っている圧縮ファイルの展開法について説明します. 商用ソフトの StuffIt や Compact Pro を利用できる環境にある方はここを読む必要はありません.

4.1　圧縮ファイル

Macintosh では (他のパソコン, UNIX においても同様に) ソフトウェアを配布する際に,

- ファイルサイズを節約する.
- 配布するファイルの数を少なくする.

目的で, 複数のファイルを一つにまとめ, 圧縮して配布する場合があります. このファイルのことをここでは圧縮ファイルと呼びます.

圧縮ファイルのファイル名は, xxx.sea, xxx.sit, xxx.pit, xxx.cpt などとなっていることがあります. このうち, xxx.sea は (Self Extract(able?) Archive, 自己展開圧縮ファイル) の略で, ファイルをマウスでダブルクリックすれば自動的に展開できます. それ以外の圧縮ファイルを展開するためには, 圧縮ファイル展開ソフトウェアが必要です. HGC からの配布ディスク 1 には, StuffIt Expander という圧縮ファイル展開ソフトウェアが附属しています. 以下に圧縮ファイル展開ソフトウェア StuffIt Expander の利用法とインストール法を説明します.

4.2　StuffIt Expander のインストール

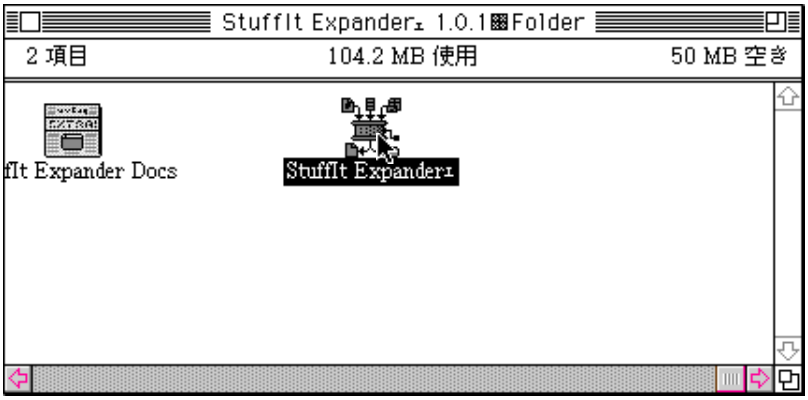
Step. 1　配布ディスク 1 に含まれている, StuffIt Expander 3.0.X を hard disk にコピーします.

> 圧縮ファイルを取り扱う時は, 展開後に 3 倍程度に容量が増大することを考慮して, hard disk 上で作業を行なうようにして下さい.

Step. 2　StuffIt Expander 3.0.X を ダブルクリックします.

すると StuffIt Expander 3.0.X Folder というフォルダーが生成されその中に StuffIt Expander がインストールされます. (ファイル:StuffIt Expander 3.0.X は上で説明した自己展開圧縮ファイルになっています).

展開結果



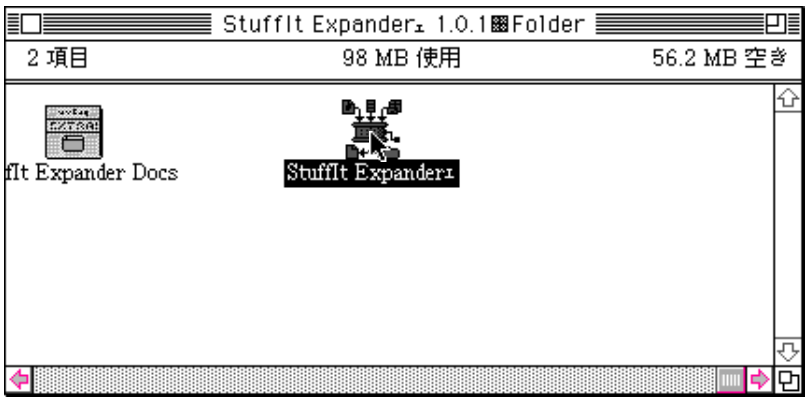
StuffIt Expander 3.0.X Folder の内容

好みに応じて, 適当な場所に StuffIt Expander 3.0.X ファイルを移動して下さい.

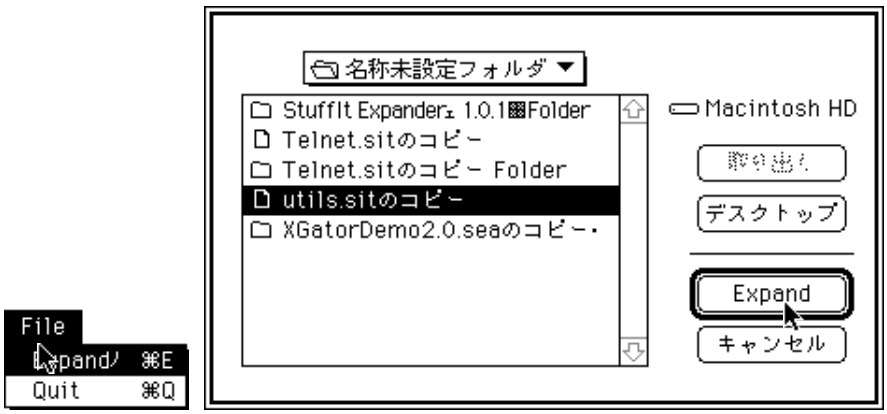
4.3 StuffIt Expander の利用法

Step. 1 圧縮ファイル (この例では utils.sit のコピー) を, 展開を行ないたい フォルダー にコピー (または移動) します.

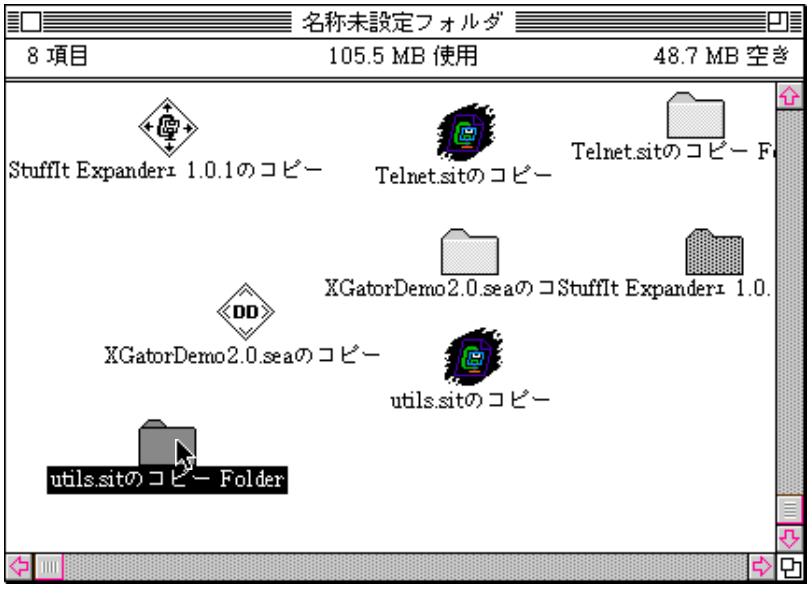
Step. 2 StuffIt Expander をダブルクリックして起動します.



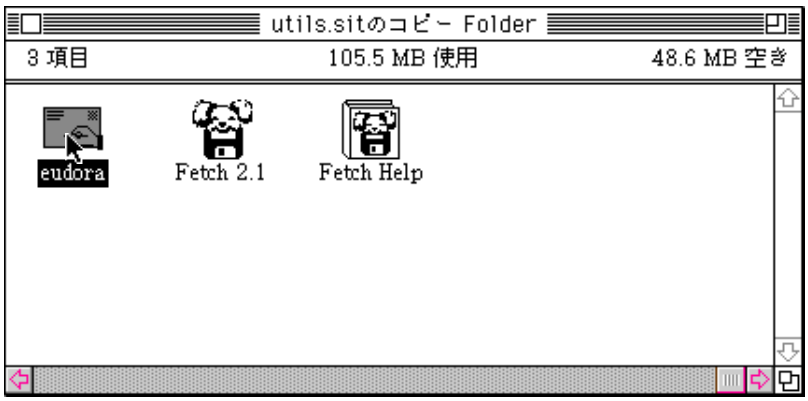
Step. 3　File ⇒Expand ⇒ ファイル名 (この例では utils.sit のコピー) を選択し, Expand ボタンを選択します.



Step. 4　この結果「⟨ ファイル名 ⟩ Folder」(この例では utils.sit のコピー Folder) という フォルダーが出来ます.



この例では, フォルダーの内容は以下のようになっています. これで, 圧縮ファイルの展開は完了です.



5　NCSA Telnet のインストール法

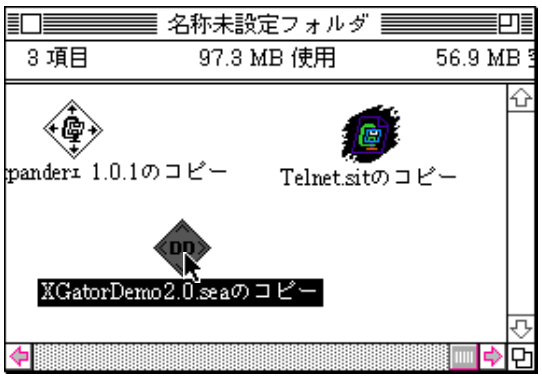
ここでは, Macintosh から イーサネット (IP ネットワーク) を介して UNIX ホスト に login するための端末ソフト NCSA Telnet を インストールする方法について説明します. NCSA Telnet をインストールするためには, 前もって

- MacTCP をインストールする.
- 圧縮ファイル展開用ソフトウェア StuffIt Expander をインストールする.

ことが必要です.

5.1　NCSA Telnet 圧縮ファイルの展開

Step. 1　hgc から配布される配布ディスク 1 に入っている Telnet.sit を hard disk にコピーしておきます.



Step. 2　あらかじめインストールしておいた StuffIt Expander を起動します.

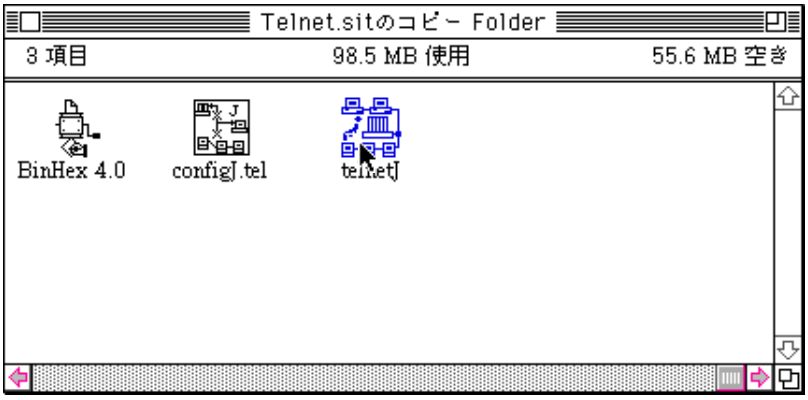
Step. 3　以下, 「4.3 StuffIt Expander の利用法」を参考に, 圧縮ファイル Telnet.sit を展開します.

Step. 4　その結果 Telnet.sit Folder というフォルダーが作成されます.

5.2　インストール

Telnet.sit Folder フォルダー内の

1. configJ.tel を, システムフォルダーに移動します.
2. telnetJ を適当な場所に移動します.



以後 telnetJ をダブルクリックすると, NCSA Telnet が起動します. これで NCSA Telnet のインストールは完了です.

6 Eudora のインストール

ここでは, Macintosh から イーサネット (IP ネットワーク) を介して電子メールを読み書きするためのソフトウェア Eudora をインストールする方法について説明します. Eudora をインストールするためには, 前もって

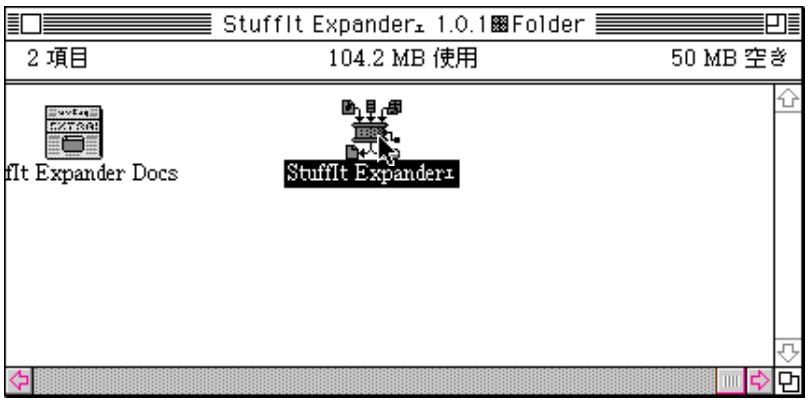
- MacTCP のインストール
- 圧縮ファイル展開用ソフトウェア StuffIt Expander のインストール
- UNIX Host (医科研では hgc) へのユーザー登録

を行なっておくことが必要です. HGC のサーバーコンピュータを利用する限り, Eudora の設定は医科研内 / 外を問わず同一になります.

6.1 Eudora 圧縮ファイルの展開

> この節での説明は,「4.3 StuffIt Expander の利用法」の説明および,「7.1 Fetch 圧縮ファイルの展開」での説明と重複します. どちらかを既に実行している場合は 「6.2 Eudora のインストールおよびデフォルト設定」まで飛ばして下さい.

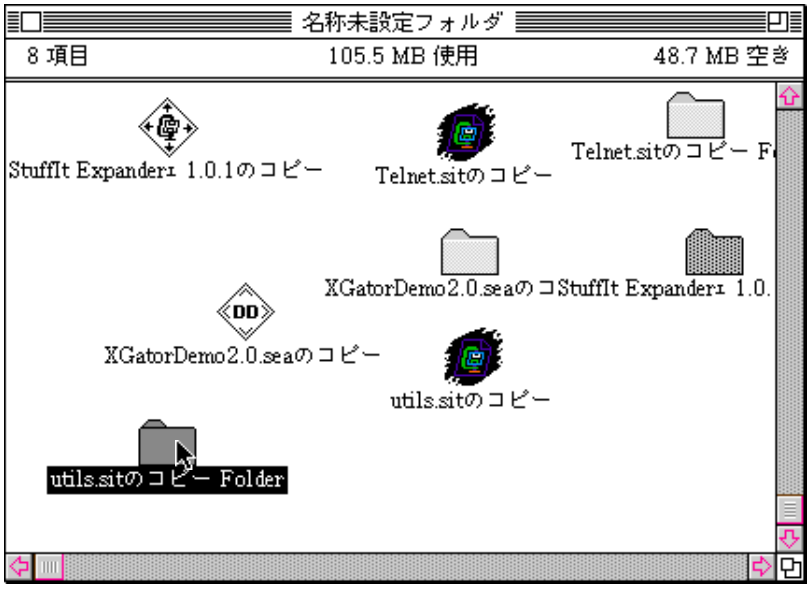
Step. 1 hgc から配布される配布ディスク 2 に入っているファイル utils.sit を hard disk にコピーしておきます.



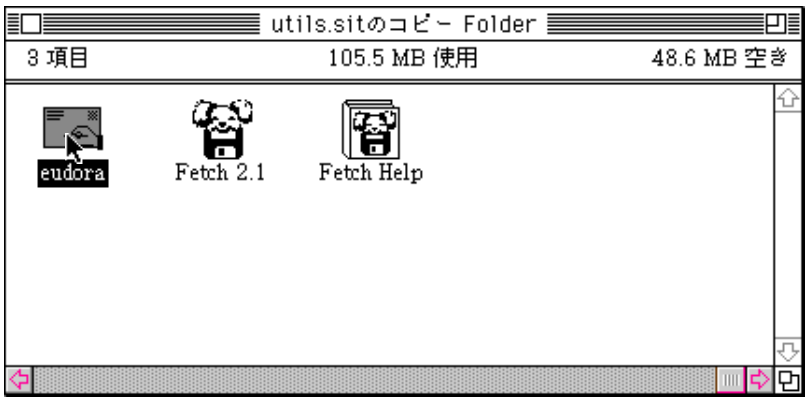
Step. 2 あらかじめインストールしておいた StuffIt Expander を起動します.

Step. 3 以下,「StuffIt Expander の利用法」を参考に, 圧縮ファイル utils.sit を展開します.

Step. 4　その結果 utils.sit Folder というフォルダーが作成されます.



utils.sit Folder の内容は以下のようになっています.



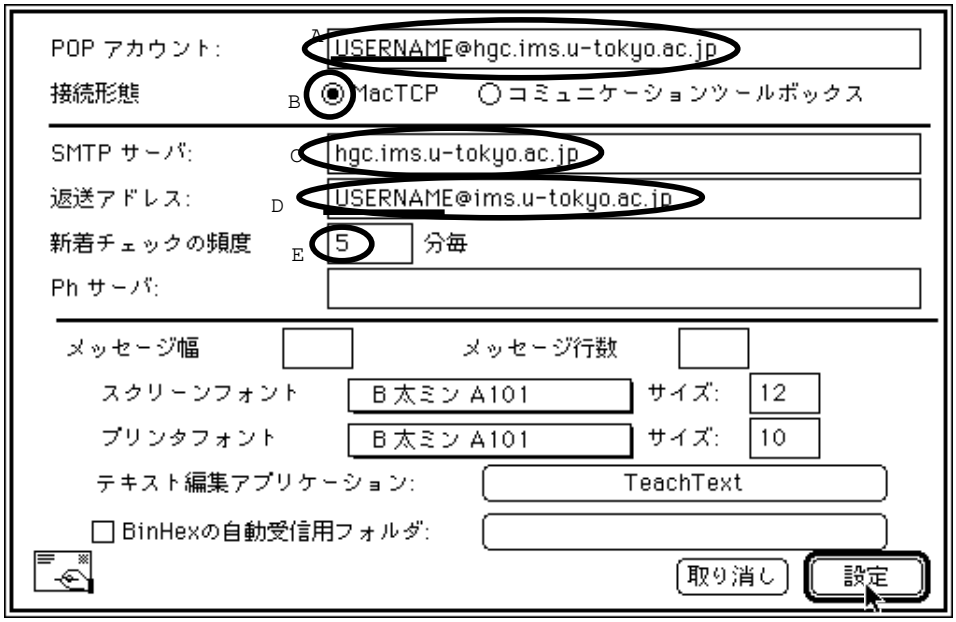
好みに応じて, Eudora を適当な場所に移動しておきます.

6.2　Eudora のインストールおよびデフォルト設定

Step. 1　Eudora をダブルクリックして起動します.

Step. 2　スペシャル ⇒ 設定変更を選択します.

Step. 3　以下のように入力します.



ここで,

A POP アカウント: は, ⟨ hgc でのユーザー名 ⟩@hgc.ims.u-tokyo.ac.jp です.
必ず hgc.ims.u-tokyo.ac.jp と, (hgc.) を付加してください.

B 接続形態: は MacTCP を選択します.

C SMTP サーバー: は hgc.ims.u-tokyo.ac.jp とします.

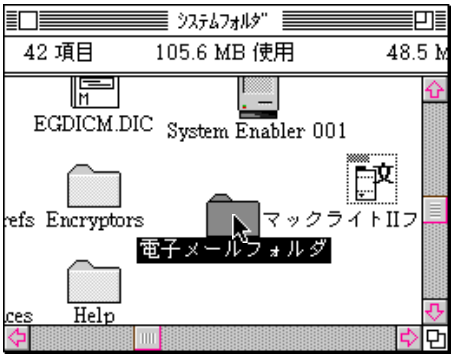
D 返送アドレスは, ⟨ hgc でのユーザー名 ⟩@ims.u-tokyo.ac.jp です. こちらのアドレスは (hgc.) を含みません.

E 新着チェックの頻度は 0 以外の適当な間隔を指定して下さい.

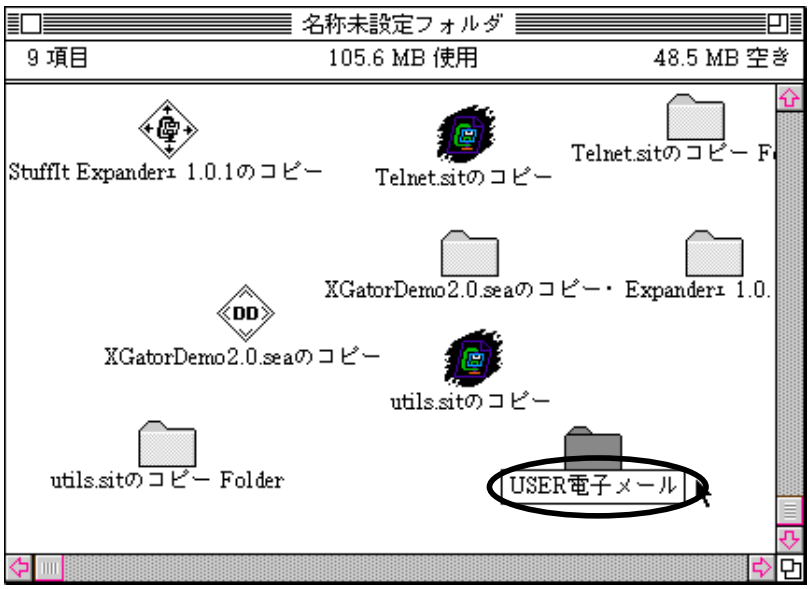
設定が終ったら設定ボタンを選択して下さい. なお, スクリーンフォント, プリンタフォント, テキスト編集アプリケーション等も設定することができます.

Step. 4　ファイル ⇒ 終了 を選択して Eudora を一旦終了して下さい.

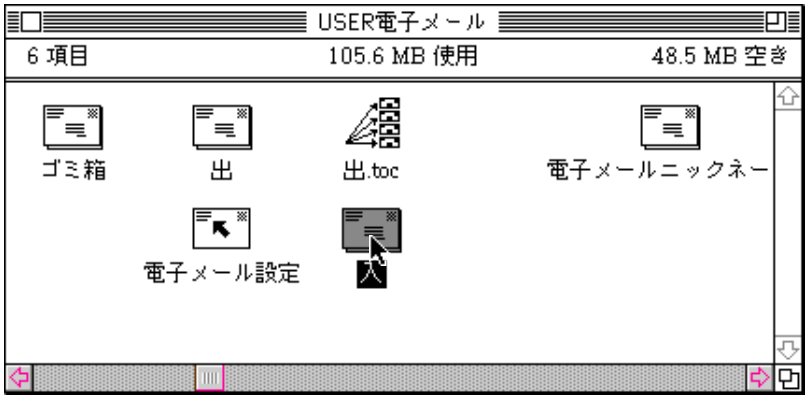
Step. 5　この時点でシステムフォルダー中に, 「電子メールフォルダ」というフォルダーが作成されているはずです.



このフォルダーを適当な場所に移動し, フォルダー名を「〈 ユーザーの名前 〉電子メール」と変更して下さい.



Step. 6　以後,「〈 ユーザーの名前 〉電子メール」フォルダー内の「入」をダブルクリックすると Eudora が起動し, Macintosh 上で電子メールの読み書きが可能になります.



一台の Macintosh から複数のユーザーが電子メールを読み書きする場合には, それぞれのユーザーについて上 Step. 1 – 6 の操作を繰り返して下さい.

これで Eudora のインストールは完了です.

7　Fetch の インストール法

ここでは, Macintosh から イーサネット (IP ネットワーク) を介して UNIX ホスト からファイルを転送するためのソフトウェア Fetch を インストールする方法について説明します. Fetch をインストールするためには, 前もって

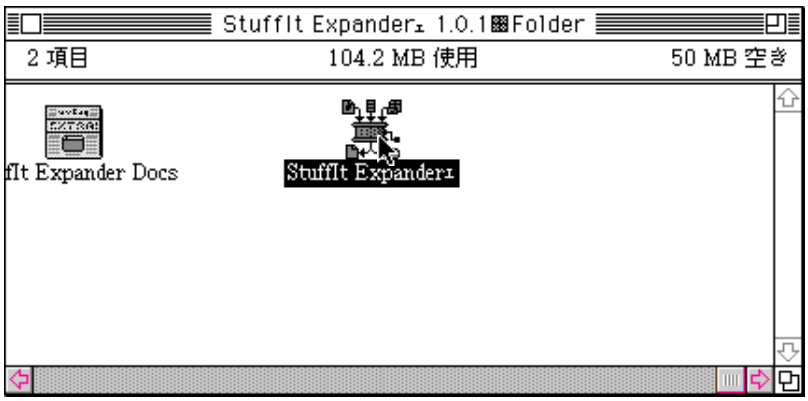
- MacTCP のインストール
- 圧縮ファイル展開用ソフトウェア StuffIt Expander のインストール

をしておくことが必要です.

7.1　Fetch 圧縮ファイルの展開

> この節での説明は,「4.3 StuffIt Expander の利用法」の説明および,「6.1 Eudora 圧縮ファイルの展開」での説明と重複します. どちらかを既に実行している場合は Fetch のインストールおよびデフォルト設定まで飛ばして下さい.

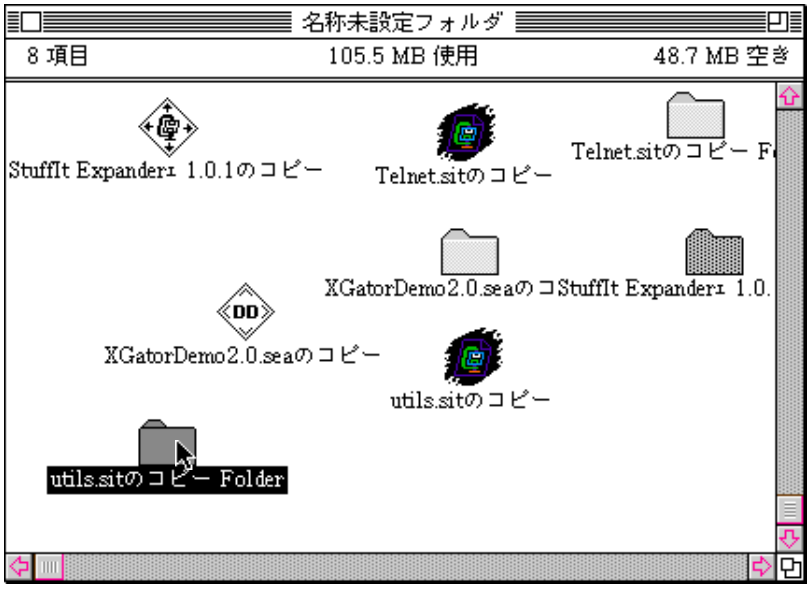
Step. 1　hgc から配布される配布ディスク 2 に入っているファイル utils.sit を hard disk にコピーしておきます.



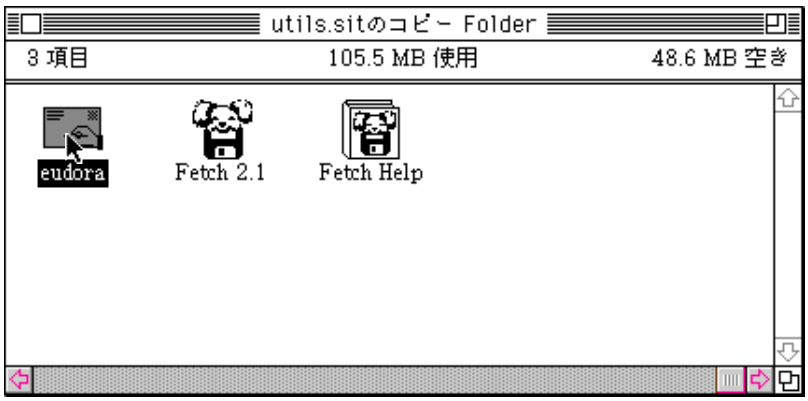
Step. 2　あらかじめインストールしておいた StuffIt Expander を起動します.

Step. 3　以下,「StuffIt Expander の利用法」を参考に, 圧縮ファイル utils.sit を展開します.

Step. 4　その結果 utils.sit Folder というフォルダーが作成されます.



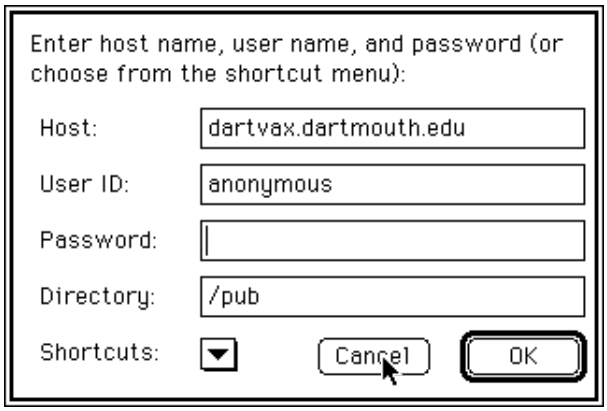
その内容は以下のようになっています.



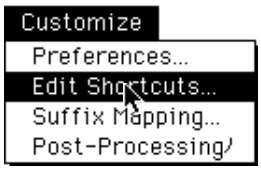
好みに応じて, Fetch2.1 および Fetch help を適当な場所に移動しておきます.

7.2 Fetch のインストールおよびデフォルト設定

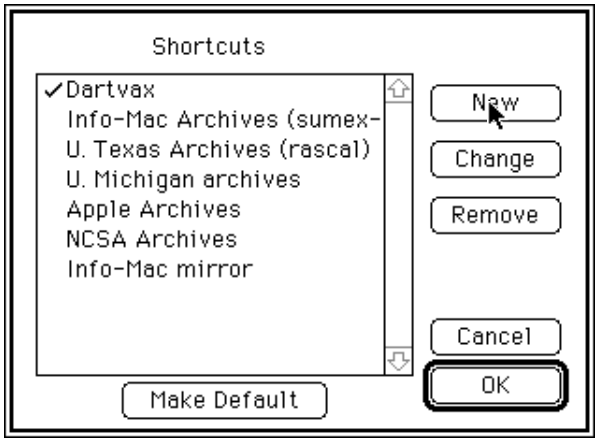
Step. 1 Fetch2.1 をダブルクリックして起動します. 以下のようなダイアログが表示されるので, キャンセルを選択します.



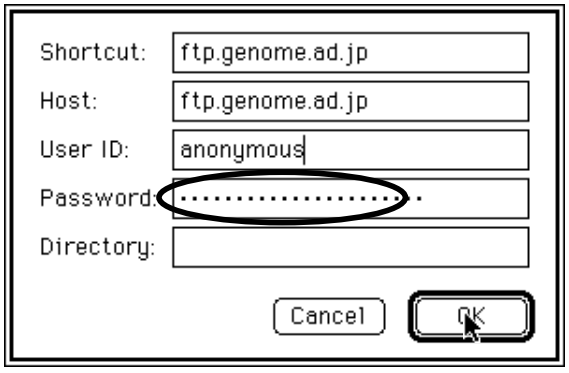
Step. 2 Customize ⇒ Edit Shortcuts... を選択します.



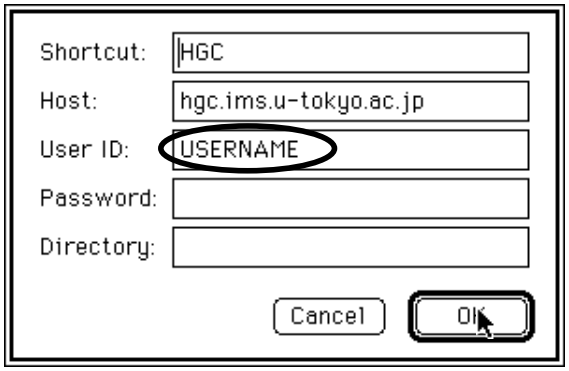
Step. 3 New ボタンを選択します.



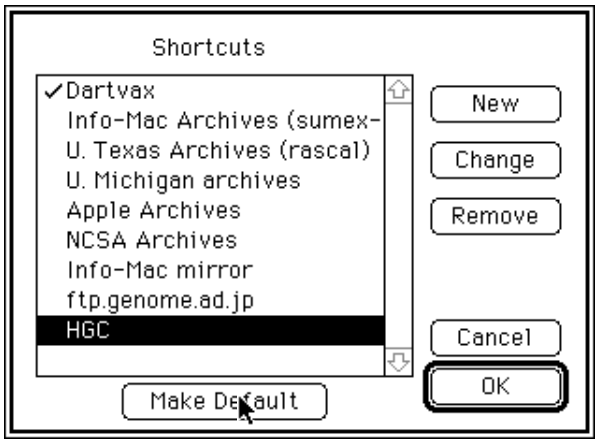
Step. 4　以下の表示のように入力します. この場合, Password (入力内容は表示されない) は, あなたの電子メールアドレスを入力して下さい. 最後に OK ボタンを選択します.



Step. 5　もう一度 New ボタンを選択して以下の表示のように入力します. ここで,USERNAME は あなたの hgc.ims.u-tokyo.ac.jp における ユーザー名を入力します.
Password: は絶対に入力しないで下さい OK ボタンを選択します.



Step. 6　以下のように表示されます. Make Default ボタンを選択し, HGC をデフォルトに登録します. 以後 Fetch 2.1 をダブルクリックすると, hgc.ims.u-tokyo.ac.jp のパスワード入力を求めてきます.



これで Fetch のインストールは終了です.

Fetch は FTP(File Transfer Protocol) という通信手順を用いて UNIX マシンとのファイル転送を行ないます.FTP をサポートしているソフトウェアを用いれば, Fetch を使わなくても UNIX マシンとの間でファイル転送を行なうことが出来ます. 例えば, NCSA Telnet にも FTP を用いてファイル転送を行なう機能が内蔵されています. ただし, これらの機能を不注意に用いると, 自分の使っている Macintosh に世界中から勝手にアクセスできるようになってしまい, 大変危険です. これらの機能を用いる場合はソフトウェアのマニュアルを良く読んでからにして下さい (ここで述べた Fetch の使い方に関してはそのような危険はありません).